

第5回議会報告会開催結果

開催日程

開催日	説明班	会場	所在地	参加者数
平成27年4月20日(月)	第1班	機殿小学校	六根町	20人
	第2班	茅広江地区市民センター	茅原町	41人
	第3班	飯南産業文化センター	飯南町横野	25人
	第4班	飯高老人福祉センター	飯高町宮前	16人
平成27年4月21日(火)	第1班	阿坂構造改善センター	小阿坂町	48人
	第2班	ハートフルみくもスポーツ文化センター	曾原町	28人
	第3班	第四公民館	石津町	22人

議員の班構成

1班	○大久保陽一	深田 龍	山本 芳敬	濱口 高志	海住 恒幸	前川 幸敏	—
2班	○川口 保	坂口 秀夫	堀端 脩	野呂 一男	大平 勇	田中 力	—
3班	○今井 一久	松岡 恒雄	中村 良子	○山本 節	松田 千代	水谷 晴夫	—
4班	○西村 友志	沖 和哉	植松 泰之	永作 邦夫	松田 俊助	中島 清晴	久松 倫生

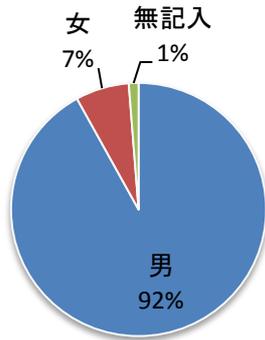
○は各班の代表者

第5回議会報告会アンケートから

○回答者総数:162人 (回収率81.0%)
○配付人数:200人 (平均28.5人/会場)

■性別

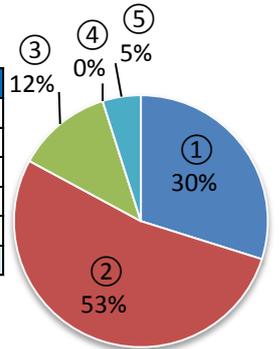
性別	人数(人)
男	149
女	11
無記入	2
合計	162



■報告内容について

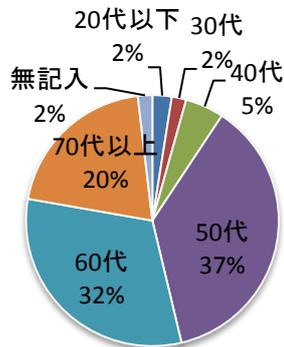
設問	人数(人)
①よくわかった	49
②ある程度わかった	87
③あまりわからなかった	20
④全くわからなかった	0
⑤無記入	8
合計	164

(複数回答)



■年齢

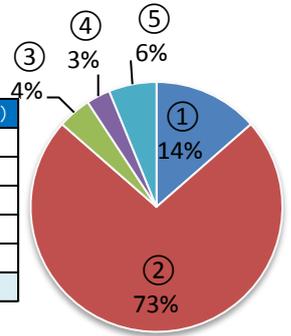
年齢	人数(人)
20代以下	4
30代	3
40代	8
50代	60
60代	51
70代以上	33
無記入	3
合計	162



■説明時間について

設問	人数(人)
①長かった	22
②ちょうど良かった	119
③短かった	7
④その他	5
⑤無記入	10
合計	163

(複数回答)

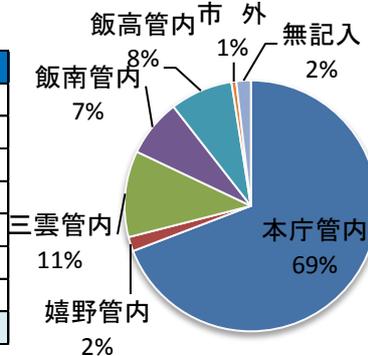


【その他の意見】

繰り返し同じ回答は避けて欲しい
要領を得た説明をしてほしい

■住所

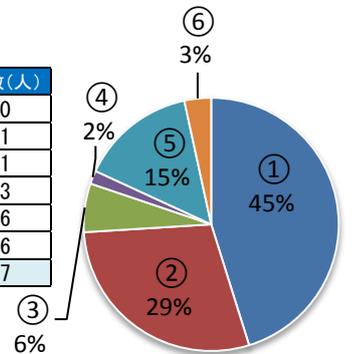
住所	人数(人)
本庁管内	112
嬉野管内	3
三雲管内	18
飯南管内	12
飯高管内	13
市外	1
無記入	3
合計	162



■周知について

設問	人数(人)
①チラシ、回覧版	80
②広報まつさか、市議会だより	51
③市議会ホームページ	11
④ケーブルテレビ	3
⑤その他	26
⑥無記入	6
合計	177

(複数回答)



【その他の意見】

自治会・区会・役員会
職場
友人・知人
新聞
市会議員

第5回議会報告会のアンケートでいただいたご意見・ご感想は以下の通りです。

【議会報告会全般について】

活発な意見がでてよかった。
報告会で各議員の質問に対する返答を（意見）を返せる場にしてほしい。 議会改革委員会でのこの会での声をどの様に処理したかの報告をホームページにも出してほしい。 どんな意見が出たか⇒その対処・回答を。
議会報告会で質問や意見に対して、対応が可能なものは対応策もホームページに掲載してほしい。 議員個人の意見を述べられない報告会でいいのか？私は個人々の意見がききたい。（そのような場もほしい）
議会報告会もありがたいが、地域住民はこの様な多数の議員と話す機会はないのもっとフリーな話し合いをしたい。
おつかれさまでした。
無意味な報告会であった。
地元の関係者の参加が少ない。 自治会を中心に高い関心をもつべきだ。集客に問題あり。
ご苦労さまでございました。
お疲れさまでした
2班の構成メンバーが建水（委）2人、文教2人、環福2人となっており、総務企画委員会の議員（委員）が1人もいない。今回の質疑の中でも当該のテーマが他の委員会の議員が答弁せざるを得ない状況にありました。 4班構成のふりわけでむずかしい所もあると思うが、班には必ず各委員（常任委員）が1人入っている様に検討して下さい。個人の考えを主に話される議員も場面場面で見うけられるので「議会」として精査されるべき所もあった。
ある程度よかった。
配布資料をいただき、説明はわかりやすかった。ただし、パワーポイントで強調点をカラーにするとモノクロ資料ではかえって見にくいというすい色になる。パワーポイント作成時点でどのような色を使うか検討してほしい。
納得の出来る回答が得られなかった。
よかった、またやってください。
若い人の参加が見られなかった。若い人を対象に行ってほしい。これからは平成生まれの時代。
予備知識のあまりない中、次々と議会で話し合われていることを一度に話をされても理解は難しいのではないかと思います。ただ議員さんの言葉として報告していただくのは大切だと思います。
事前に報告会の内容を明示すべきである。
論点がかみあっていなかった。 議会の報告だけであり意味がない。今後ともよろしく願います。
人が少なかったの飯南町としてすみません。恥です。
勉強になった。

参加者が少ない。
住民の関心がうすいのが残念。
写真・図書をおり込んで見易くされていますが、もう少し「議案」「質問」「答弁」「意見」等を分かりやすく入れて貰えれば、もっと分かりやすくなると思いますが？
今回市政報告会が各地域で実施された事は地域住民に市政の問題点、将来の松阪市の在り方、方向性等、地域の発展の為、有意義な時間でありました。ただ、市議の選定は住民の考えに基づいて意志決定をしております。今後このような報告会を実施する場合は、政党別等に行なわれれば、地域の本質的な質疑応答の意見交換が出来たのであろうと残念であります。
議会報告は？広報の内容で十分。
文章を読み上げているだけで内容が伝わりにくい。前のスライドで直接ポイントをしばって説明された方が分かりやすい。
今までこのような報告会があったかなかったかしりませんでした。今回初めて参加してまいりました。これからもこのような報告会が年に2回くらいしていただき市民におきかせ願いたいと思います。参加してよかったなあと思いました。
行政職員は理解できるが、一般参加の方は行政用語が理解できないのでは？例えば〇〇〇、つまり△△△ということです、というような感じで説明されたほうが良いと思います。
今後はネットで見える様にしてほしい。会場でやらなくても良いと考える。若者がいない。
折角の機会であるので出席者が少なくもう少しPRが足らなかったのではないかと思います。
投票率を上げる試みも必要だが、報告会も大半が職員であり、一般のかたにもっと政治自体に興味を持っていただけるようにしていく必要があるように感じた。報告会なのだから、スマートにイージーにもっと楽しんでもらえる工夫をしてもよいのでは。子どもでもわかるようなものが望ましい。政治に参加するきっかけとしての企画が必要で、いくら一部の人に納得してもらっても、多くのかたに理解してもらえない、参加してもらえないでは意味がない。
市民の皆様のそれぞれのお考えを伺うことが出来、有意義でした。ありがとうございました。
議員の方から丁寧な説明・答弁であったと思います。意見交換の本来の姿として、いい報告会になったのではないのでしょうか。
それぞれ違う立場の議員が一つのことを説明するのは、大変難しいことだと思った。しかし、大変良い雰囲気の中で意見交換が行われたというのが良かった。
議員さん本人の意見を聞きたい。 質疑応答の時間が長い方が良い。
市議会議員がそれぞれの委員の立場から市の状況を説明頂き、よく各部会の流れがよく理解できて良かった。議員さんもしそがしい中各地域に周り議会での取り組みを知って頂く場をもっと多くの人に来て頂くよう我々も声をかけていきたいと思えます。
個々の議員の考えが違う中、「議会」を代表した統一意見を述べているのが印象的。 御苦労様でした。パワーポイントの資料は素晴らしい。分かりやすかった。
初めて参加させて頂きました。今後も定期的開催してほしいですね。地域の人々の参加者ももっと増えていくように継続していきましょう。参加者が若い人も参加してほしいです。議員さんに文句を言う場より、我々市民が議会の方々に提案出来る場にしてほしい。ありがとうございました。
パワーポイントが実によく作成されており、わかりやすく良かったです。

【図書館改革・PFIについて】

図書館改革について（資料20P）説明を聞いてよくわかった。

図書館改革（嬉野図書館も含めて）について議員が勉強をしてほしい。わかっていないようである。←要注意
P F I についての回答が参加された方にも良くわかったと思うのですが。
図書館問題について、説明がよくわからない。
P F I についてよくわからなかった（具体的なメリット）。
必ずしも P F I に反対しているわけではないことを強調するために、給食センターのことを言及しても良かったのではないかな？

【議会について】

議案審議の流れが本会議から各委員会にわかれてて審査され、再度本会議で等図でよくわかる（資料1P）。
議会の流れや運営の仕方をあらためて知ることができ、勉強になりました。新聞やだよりで議会の内容を知るよりも、直接お聞きすることで議会に対する興味なども高まりました。

【議員について】

私は議員の大切な仕事の一つが「市民の声をきく」ことだと考えています。その為には市民との良好な関係が必要ではないでしょうか。大多数の方は丁寧な対応をしてくださっていますが、ある方は、市民からの質問の要約をしてくださった際に「～せいということですか？」とおっしゃってました。我々を敵か何かと勘違いされているのかなと感じ、寂しく思いました。
図書館問題などで議会で反対された方々は現場も見ずに反対し、いろいろな図書館問題の集まりへの出席もせずに答えを出すのはおかしいのでは。市民の意見をきちんと反映しているのか？
図書館シンポジウムにも来なかった議員さんや否決してから図書館を見学に行かれた議員さん。議員さんの真剣さが足りないのでは？本当に市民の声をきいているのか？
市長と議会の意見に違いがあるのは仕方ないが、それを調整するのも双方の仕事ではないのか。
市長の事（市長の立場）もよく理解してほしい。仲良くやってほしい。
議員の考え方のレベルが低い（票取りの事しか考えが無い）。

【その他】

大平橋のかけかえ、櫛田川対岸土砂の撤去、新しい県道の早期着工、是非、議員さんに協力して頂き実現して欲しい。
市長辞職表明の影響は少なからずあるのではないかな。
議会と市とのとことんの話し合いを。学校問題
三重県で水道料金が2番目に高いと新聞に書いてありました。もう少し安くないのですか。
歴史問題①長谷川邸②松阪城③本居宣長、これの進め方に対してダイナミックに進めること。
阪内川の浚渫を早くしてほしい。 市議会だよりは読みやすく分かりやすくお願いします。

議会報告会報告書

開催日時	平成 27 年 4 月 20 日（月）午後 7 時 00 分～8 時 49 分	
開催場所	機殿小学校多目的ホール	
出席議員	大久保陽一、深田龍、山本芳敬、濱口高志、海住恒幸、前川幸敏	
	司会進行者	山本芳敬
	報告者	山本芳敬、濱口高志、海住恒幸、深田龍、前川幸敏
	記録者	深田龍
参加人数	20 名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 水谷晴夫様

平成 27 年 4 月 22 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 1 班

代表者 大久保陽一

【主な質疑応答・意見等】

問 これまでの議会報告会で出た質問について、対応策や今の状況をホームページに載せて欲しいが、どうか。

答 意見として受け止め、議会報告会終了後、検討させていただく。

問 個人の意見を述べられない報告会よりも個人の意見を述べてもらえる議会報告会にして欲しいが、どうか。

答 43の住民協議会を回るにあたって同じルールのもとで行ってきた。意見として受け止め、今後についてはルールも含めて、検討させていただく。

問 マイナンバー制度について、発行されるカードの有効期限はあるのか。

答 常任委員会の中でもその質疑を行ったが、今はまだ有効期限について決まっていないとの執行部の返答であった。ご理解いただきたい。

問 住民協議会の条例化について、条例があるのとないのでは何が変わるのか。

小さい住民協議会のことも考えてもらった上で、条例化してもらいたい、どうか。

答 規則と条例はほぼ同じ内容になると考えている。

問 住民協議会には事務局長を置かないといけないというルールがあると思うが、どうか。

答 持ち帰り、確認する。

要望 大平橋（櫛田川にかかる橋で唯一、一部に木が使われている橋）右岸から左岸まできちっと橋ができていない。県の都市計画道路の中で、橋を作る話もあったが計画は頓挫。なんとか橋を作ってもらいたい。

要望 川島町の堤防に漏水の危険のある箇所がある。国交省の職員の話では平成27年度の予算申請はしたが、通るかどうかわからない。今後について見通しがないので、市・県・国と協力して取り組んで欲しい。

要望 西南海岸の干潟観察するための公園が完成したが、枯れ草等の管理をしっかり対応していただきたい。

議会報告会報告書

開催日時	平成 27 年 4 月 20 日（月）午後 7 時 00 分～8 時 36 分	
開催場所	茅広江地区市民センター	
出席議員	川口保、坂口秀夫、堀端脩、野呂一男、大平勇、田中力	
	司会進行者	川口保
	報告者	坂口秀夫
	記録者	堀端脩
参加人数	41 名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 水谷晴夫様

平成 27 年 4 月 24 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 2 班

代表者 川口保

【主な質疑応答・意見等】

問 図書館改革の事が、よく分らない。また、市長と議会の考えのどこが合わないのか。

答 現在の図書館の運営は、指定管理制度で行われており、今回PFIによる図書館改革について議論が行われた。PFIとは、図書館の設計・施工・維持管理・運営を全て民間に委託する手法であり、昨年9月議会で議案上程があり、議会に対する説明の不十分さや、PFIありきではないかなどの議論が行われ、否決された。また再度上程された11月議会では、VFMの信頼性や事業範囲が図書館周辺の多くの施設へ広がっていたこともあり、再び否決された。同じ内容で3度目の上程となった2月議会でも否決された。

問 図書館の利用率が他市に比べ低い中、何を変え、どのようなことがしたいのかよくわからない。

答 松阪市の子ども達を中心に考え、市民が利用しやすくなるように図書館を改革する。

問 市は、図書館を運営していく上で、箱ものではなく図書館司書を育てることの方が、大事ではないか。

答 図書館の充実については、雨漏りの修理や増冊、また駅西に図書館を設置するなどの議論も大事であり、また各学校の図書や移動図書館等を充実し、司書を充実することも大事である。

問 税番号制度がスタートするにあたり、セキュリティが心配であるが、どうか。

答 国の施策であり、想定できるセキュリティ対策については、国が検討し示されるので、その基準を順守する。また、現在市内においても、セキュリティに関する基準があるので、これらを順守することとなる。

問 茅広江地区の児童・生徒が少ないが、今後この様な地域の学校の在り方について議会としてどう考えているのか。

答 少子高齢化の代表的な問題であり、戦後と比べ現在では子どもの人数も半分になってきており、国の施策である地方創生の中で取り組んで行く必要がある。また、文部科学省が示してきた遠距離通学のガイドラインについて、今年度中に見直されると聞いている。このガイドラインの見直しは、学校の統廃合にも影響するので、それが示されてから地域住民と教育委員会とで協議を行っていくように考えている。このことは、茅広江地区だけでなく松阪市全域に関わ

ってくる問題である。

問 結婚しない世代が多く、少子化対策がなかなか進んでいないように思うが、どう考えているのか。

答 行政も窓口を設け少子化対策には取り組んでいる。平成 27 年度はワークセンター等でも取り組みを始めている。

問 事業仕分けは、その後どうなっているのか。又、市議会の補欠選挙は行われるのか。

答 事業仕分けは一定の区切りが付き 2 年前から行っていないが、今は公共施設の仕分けをスタートし、今後皆様の声を反映させていく。また、議会の補欠選挙は 5 名以上の欠員が出た場合行われるが、それ以外でも市長選があれば補欠選挙は行われる。

議会報告会報告書

開催日時	平成 27 年 4 月 20 日（月）午後 7 時 00 分～9 時 15 分	
開催場所	飯南産業文化センター	
出席議員	今井一久、松岡恒雄、中村良子、山本節、松田千代、水谷晴夫	
	司会進行者	水谷晴夫
	報告者	今井一久、松岡恒雄、山本節、水谷晴夫、中村良子
	記録者	松岡恒雄
参加人数	25 名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 水谷晴夫様

平成 27 年 4 月 24 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 3 班

代表者 今井一久 ㊞

【主な質疑応答・意見等】

問 PFI・図書館改革について、図書館の「在り方」について検討することが一番ではなかったのか、そのあたりの見解を示してほしい。

答 市の提案には多々問題があった。市民にとって疑問に思う事業であり、図書館改革調査特別委員会の中で、市民の方のご意見もいただき建設時期も含め、どう「在るべきか」を議論し、今後の方向性を決定していきたい。

問 深野和紙は、伝統工芸であり、継承すべき文化である。この予算はどこからでているのか、農政関連ではなく、教育委員会文化課の予算にするべきではないか、議会としての考え方の在り方を聞きたい。

答 農林水産業費・農業施設費・飯南和紙和牛センター管理運営事業費 751,000 円から出ている。

前年度は 694,000 円。和紙製法と和牛肥育技術伝承、紹介の場としての飯南和紙和牛センターの施設維持管理経費である。文化課の予算については、飯南振興局で詰めていただき、教育委員会に報告できるよう要望しておく。

問 道路維持管理について、整備率を 64%から 80%になるよう努力してほしいが、どうか。

答 すぐに来るものは対応している。緊急度の高い順番から進めている。もし必要なら要望してほしい。

問 行政改革の中で、戸籍住民関係の窓口業務が PFI で運営されると聞いたが、議会として検討いただきたいが、どうか。

答 窓口業務の PFI について、全国的に民間委託として進んでいる。個人情報取扱についてどうなるのか等々問題となっており、今後の課題となっている。

問 PFI 方式は、請負契約、委託契約のどちらになるのか。また収益性のない図書館で何故 PFI 方式を推奨するのか。図書館をどのようにするのか中身の議論をしてほしいが、どうか。

答 SPC（特別目的会社）が入札を請け負う形の契約で 20 年間の実施。リスク分担含めた契約である。8 億円で文化会館、図書館修繕は、2 億円ずつ 20 年間で 40 億円の維持管理費を支払っていく。図書館改革調査特別委員会にて PFI、SPC の本質について検討し、市民にとって何が良い内容であるかを検討していく。

問 松阪牛の定義として、美杉、飯南、飯高、多気、松阪が中心であり、宮川から雲出川の流域、兵庫県産但馬子牛で飼っているもので、どこへ出しても恥ずかしくない牛である。現在では、定義が広がってしまいブランドとして自信を持って示せる状態ではなく、松阪牛の価値が無くなってしまう。議会として検討いただきたいが、どうか。

答 松阪牛協議会の会長は山中市長であり、予算の配分方法等についても要望をしていく。本来なら A5、A4 で分けることが良いと思われるが、なかなか難しいデリケートな問題であり、経過も見て市長も含めて議論すべきである。飯南地域へは、結果の報告をしっかりとさせていただく。

問 弱者対策、債権回収、滞納者問題について、払えない者への対応をしっかりとしてほしいが、議会としての見解は。

答 今回の債権回収対策課を税務部に設置したことで、分納制度の利用案内や保護課と連携していくこと、また多重債務者については不能欠損として処理をすることも出来るようになった。支払困難な方にも債権回収対策課へ連絡することの必要性を訴えている。

議会報告会報告書

開催日時	平成 27 年 4 月 20 日（月）午後 7 時 00 分～午後 8 時 38 分	
開催場所	飯高老人福祉センター	
出席議員	西村友志・沖和哉・植松泰之・永作邦夫・松田俊助・中島清晴 久松倫生	
	司会進行者	松田俊助
	報告者	永作邦夫・中島清晴
	記録者	植松泰之
参加人数	16 名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 水谷晴夫様

平成 27 年 4 月 21 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 4 班

代表者 西村友志

【主な質疑応答・意見等】

問 市民にも責任の一端はあるが、この宮前地区には議員は選挙の時にしか来ていないのではないだろうか。この地区にも足しげく通ってほしいと思っている。地元議員がいる地域に、他地域の議員が訪問し地域課題に関わることに抵抗はあるのか。

答 確かにそのように感じるころはあるが、全議員が松阪市全体の課題に対して積極的に関わっていくことがこれからはもっと必要であると考えている。

問 飯高地区の水洗化率は半分ほどであると見ている。以前に自宅の工事を行った際には75万円ほど経費がかかった。融資制度等も考えてほしいが、どうか。

答 現在は合併浄化槽の制度も含めて取り組んでいる。融資制度も含め、検討は必要であると考えている。

問 この地区は第三地域包括支援センターの管轄だが、高齢化率も高く、人員が不足しているように思う。認知症対策などに対して松阪市は進んでいるはずであり、もっと人員を増やし、対策を考えていくべきだと思うが、どうか。

答 必要なことであり、より拡充していけるよう考えていきたい。

問 空き家対策が遅れている。島根などは行政の力でこ入れで改善してきていると聞いたが、どうか。

答 インターネット等のシステムを活用して若年層にアピールしている地域もあり、それらを参考にしながら、過疎化対策も含め検討していく必要がある。

問 市民病院の居宅事業について、独自にケアマネージャーを置くとのことだが、宮前にも来てもらえるのか。

答 この事業は、各地域にケアマネージャーが赴くというのではなく、あくまでも市民病院内での対応となる。地域の課題に対しては、地域包括支援センターが間に入って、地域の方々のコーディネートをしていくようにしている。また、各病院との連携の強化には課題があると認識している。

問 この地域を走るコミュニティバスの今の運行状況では不十分である。自家用車のない人にとっては通院もままならない。増便は考えられないのか。

答 現状を更に把握し、執行部と共に対処策を考えていきたい。

問 図書館改革事業について、PFI を用いることのメリット、デメリットは何か。

答 一社が設計・施工・維持管理を一括して担うことができ、経費の削減に繋がるとされるのがメリットと考えられている。しかし、デメリットとして、それらが机上の数値であることから、信憑性に疑問があること等を指摘してきた。本当に計画通りに進められるのかどうか確信の持てないところが大きな問題であると考えます。

意見 図書館改革事業について、議会と執行部がこれだけ議論し合ったということは評価できる。あとは良い方向性を見つけて欲しい。

問 全国学力調査の結果を受けて、松阪市は、成績上位の秋田県や福井県との違いを明らかにし、例えば、2 学期制を 3 学期制に戻すなど対策を考えるべきではないのか。

答 さらに調査研究し、執行部に対しても対応を求めていきたい。

議会報告会報告書

開催日時	平成 27 年 4 月 21 日（火）午後 7 時 00 分～8 時 29 分	
開催場所	阿坂構造改善センター	
出席議員	大久保陽一、深田龍、山本芳敬、濱口高志、海住恒幸、前川幸敏	
	司会進行者	深田龍
	報告者	全員
	記録者	濱口高志
参加人数	48 名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 水谷晴夫様

平成 27 年 4 月 22 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 1 班

代表者 大久保陽一

【主な質疑応答・意見等】

問 自治会に加入していない人は防犯灯の電気代も負担していない。条例を作り強制的に加入させることはできないのか。

答 自治会への加入は任意なので強制できない。

問 長谷川邸を市に寄付してもらったが、まったく見せられる状態ではない。

松阪には竹川家、国分家等の商家もあるが、まったく活用されていない。会津若松市とは相当違う。松阪は停滞しているが、どう考えているのか。

答 今、「豪商のまち」として動き出したばかり。整備するには時間がかかる。もう少し見守ってほしい。

問 合併して松阪インター付近が市の中心となった。合併前に市役所をどこへ（競輪場、駅西等）もっていくかという議論があった。市庁舎をここへ移転するというのはどうか。

答 4年ほど前、建替え、耐震補強、制震化の案が出たが、資金の問題もあり、現在の安価な耐震補強を行った。市当局は20年ほどは現状のままいくとのことであった。しかし、20年後のことは考えていかなければならない。貴重な意見として承る。

意見 松阪の教科書（歴史、公民）の選定が左翼的でよくない。

意見 教科書選定方法が左翼的であるというのは、個人の意見であって阿坂の意見ではない。

意見 阿坂でこのような場を作っていただき、ありがたい。

意見 市議会から3名県議会議員になった。国・県から予算をとってきて松阪をよくしてほしい。

意見 市長が国を訴えるのはダメ。予算が来ない。

議会報告会報告書

開催日時	平成 27 年 4 月 21 日（火）午後 7 時 00 分～8 時 30 分	
開催場所	ハートフルみくもスポーツ文化センター	
出席議員	川口保、坂口秀夫、堀端脩、野呂一男、大平勇、田中力	
	司会進行者	川口保
	報告者	坂口秀夫
	記録者	大平勇
参加人数	28 名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 水谷晴夫様

平成 27 年 4 月 23 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 2 班

代表者 川口保

【主な質疑応答・意見等】

問 松阪偉人顕彰団体は5団体で研究しながら、ボランティアで松阪市の偉人の情報を機会あるごとにPRし、連絡組織として協議会を持っている。特に今年は8月に子ども向けに普及活動を予定しているが、自費では限界があり何らかの形で市から支援できないか。

答 議会で話題になっていないが、松阪市の偉人として重要かつ情報発信をしていただくことは非常に有意義で、行政に対し一緒になって要望することに心がけたい。

問 若い市長が誕生したとき県内外から注目され自慢をしていたが、最近、図書館問題がうまく解決しないことから胸がモヤモヤしている。議会が若い市長を育てる意味から議会で仲裁するなり双方が話し合い、うまくいく方法がないのか、市民として情けない。

答 市長と議会は共に選挙で選ばれ二元代表（車の両輪）であり、市長が提案したことに対し議会は良ければ賛成、そうでないものは反対しなければ市長の言いなりで議会の意味がない。立場が違いお互い緊張感をもつことは必要でありご理解願いたい。仕事の成否は段取り次第である。

市長辞職表明は議会からではなく自らが発表し、辞職時期は二転三転している。

なお、市長と議会は対立構造だけではない。議会が市長を助けた一つの例として、松阪市長とRDF連合長の多気町長のトップ対立は3年続いたが、連合からの円満離脱とゴミの一元化の仲裁案を松阪市議会が提案し、松阪市長が尊重した結果、本年4月からの市内ゴミ処理一元化がスムーズに移行したことが挙げられる。

意見 市長と議会は話し合いをして、良い方向に進むようお願いをしたい。

問 天白、鶴等地元は災害時の高台避難場所がないが、計画はどうか。

答 三雲地区から東黒部まで海岸付近はハード面で遅れているので、議会でも機会あるごとに質問している。命に関わる重要な問題であり、十分認識をしており引き続き住民協議会・自治会を通して要望をしてもらいながら議会も訴えていく。

問 交通安全政策、特に道路維持整備など余り改善されていないがどうか。

答 道路維持整備工事として発注したのは302か所、三雲管内で自治会から38件要望があり処理件数は内25件で66%の整備率である。

市全体では761件の要望に対し処理件数は487件で64%の整備率、地区ごとの要望をバランスよく受け入れている。なお、要望事項は自治会を通し受付をしている。

議会報告会報告書

開催日時	平成 27 年 4 月 21 日 (火) 午後 7 時 00 分～9 時 6 分	
開催場所	第四公民館	
出席議員	今井一久、松岡恒雄、中村良子、山本節、松田千代、水谷晴夫	
	司会進行者	松田千代
	報告者	今井一久、松田千代、山本節、水谷晴夫、中村良子
	記録者	松岡恒雄
参加人数	22 名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 水谷晴夫様

平成 27 年 4 月 24 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 3 班

代表者 今井一久 ㊟

【主な質疑応答・意見等】

問 図書館改革の問題で、市長が辞職するとは、どういうことか。議会は大人げないのではないか。

答 議会も市民の代表であり、良いものは良い、悪いものは悪いと、議員各人の目から視て判断している。

問 3月19日の図書館改革調査特別委員会開催後、特別委員会は何回開催されたのか。

答 4月24日(金)に第4回の図書館改革調査特別委員会を開催する。この議会報告会終了後、本格的議論をスタートさせていく。

問 下水道事業の受益者負担金について、市街化区域と調整区域で不公平ではないか。

答 生活排水アクションプランの見直し後、計画変更もあり、区分を今後どのようにするのか議論される予定である。後日きちんとした答えを提出させていただく。

問 松阪牛周知のため、「ふるさと納税」において十分活用して良いのではないか。

答 特産松阪牛緊急支援補助金340万円の財源は、「ふるさと納税」でいただいたものを財源としている。松阪市に寄附していただいた方に、ふるさと「松阪」の特産品をお贈りしている。

【8万円以上の寄附をされた方】…特産松阪牛 すき焼き用（数量限定）

毎年度4月から9月の寄附者を対象とするが、特産松阪牛の調達状況によっては松阪牛極上すき焼き用となる場合がある。

※10月から3月の寄附者については、松阪牛極上すき焼き用となる。

【5万円以上8万円未満の寄附をされた方】…松阪牛 すき焼き用

【1万円以上5万円未満の寄附をされた方】…松阪特産品セット

問 反戦・反核について、どのように考えているのか。

答 原発問題、集団的自衛権の請願について、議会としての議論があった。今後についても、いろんな動き、運動の中で議会として議論していきたい。

問 松阪市の情報発信としての提案である。松阪市の種々の提案をしたマグネットを作成し、それを市民に購入していただき、自動車に貼り全国へ行って

もらい、宣伝してもらい松阪の情報発信としていく。その売上の一部を福祉の分野に使用してもらうのはどうか。

答 観光課と相談させていただき、発想も含めて要望として出させていただく。

問 阪内川の下流域での河床が上がり、非常に危険であり、検討していただきたい。

答 三重県土木の方へ、土砂の撤去を要望。松阪市においても都市整備部を通じて要望させていただく。

問 「市議会だより」の中の議決結果を見ると、原案可決が多い。本当に議論しているのか。

答 常任委員会、本会議の議論のその過程が大事であり、各議員の意見もその過程の中で議論させていただき、その結果として原案可決となるものである。現在、市民の皆さんからいただいた意見がどう反映され、議員が常任委員会、本会議でどのように議論しているのかが、理解されるように広報広聴委員会ですとまとめているので、意見、要望があれば寄せいただきたい。

問 人口減少について、将来への対策は。

答 地方創生に国も取り組んでいる。雇用の創出が一番大事であり、総合計画づくりの中で議論し地域資源の利活用に取り組んでいく。

問 少子高齢化で、学校を出て、地元で雇用出来る産業がない。地域活性化のため、行政と議会が知恵を絞り、今いる人が流出していかない取組みをしてほしいが、どうか。

答 大学がなくなり、高校卒業生の約 7 割が市外への就職という中で、人口減少対策についてもしっかりと議論していきたい。

問 松阪牛をもっと活用し、松阪市を活性化してほしいが、どうか。

答 松阪牛を守っていく中で、企業の参入とともに松阪牛の大規模化の振興と、特産松阪牛の違いの問題が生じている。非常にデリケートな問題でもあり、今後、普及が進むよう取り組んでいく。